

第 36 回新版 K 式発達検査講習会(中級)・第 5 回新版 K 式発達検査研究大会

募集要項

1. 主催 社会福祉法人京都国際社会福祉協力会 京都国際社会福祉センター
2. 目的 新版 K 式発達検査の臨床での活用について学ぶ。
また、新版 K 式発達検査に関する研究について議論する。
3. 日時 一日目：2026 年 11 月 28 日（土）
二日目：2026 年 11 月 29 日（日）
4. 会場 京都国際社会福祉センター
（本館・東館の 2 会場のため、一部がリモートになります）
5. プログラム 中級講習会
一日目 挨拶：所 久雄（京都国際社会福祉センター）
10：00～10：50
新版 K 式発達検査の実施についての質疑応答
清水里美（大阪常磐会大学）
岩知道志郎（新版 K 式発達検査研究会）
11：00～16：00 分科会（ワークショップ）
<昼食休憩が 1 時間あります>
① K 式の実践力を高めよう
② 5 歳児健診への事後フォローとしての活用
③ 発達の見立てと見通しから縦断的活用の可能性を考える
※希望する会を選んで参加します
（申込時に分科会の希望を記入してください）
16：15～17：00 分科会報告
司会：清水寛之（神戸学院大学）
二日目 中級講習会・研究大会
司会：清水寛之（神戸学院大学）
10：00～12：00
子どもの言語発達のアセスメントをめぐって
一言語獲得期における認知と言語の発達の関連性を探る—
小山 正（神戸学院大学）
13：00～14：05 研究発表（発表者を募集します）
14：20～16：20
乳児の発達を運動と環境から捉える
—発達カスケードという視点—
西尾千尋（甲南大学）
16：35～17：00 総括
郷間英世（京都教育大学）

分科会概要 ① K 式の実践力を高めよう

清水里美 (大阪常磐会大学)

松岡利規 (京都国際社会福祉センター・京都大学大学院医学研究科)

足立絵美 (京都国際社会福祉センターのぞみ親子相談室)

この分科会は、「K 式の実施はできるようになったけれど、反応の解釈や所見作成はまだ自信がない」といった、初学者の次のステップにおられる方を対象としています。一つの事例について、行動観察から所見作成・助言までをじっくり検討しましょう。

② 5 歳児健診への事後フォローとしての活用

全 有耳 (奈良教育大学)

中井 靖 (京都女子大学)

こども家庭庁は 2028 年度までに全市町村での 5 歳児健診の実施を推進しています。本分科会では他の乳幼児健診とは異なる発達アセスメントおよびフィードバックの視点から 5 歳児健診における新版 K 式発達検査の活用について検討します。

③ 発達の見立てと見通しから縦断的活用の可能性を考える

郷間英世 (京都教育大学)

田中 駿 (京都国際社会福祉センター・奈良教育大学)

本分科会では、検査を複数回実施した事例を取り上げます。各時点での発達の「見立て」と、そこから考えられる発達の「見通し」から、新版 K 式発達検査の縦断的な活用を皆さんと一緒に検討したいと思います。

- | | |
|-----------|--|
| 6. 定員 | 70 名 |
| 7. 対象者 | 初級講習会の修了者、または現在新版 K 式発達検査を活用している方。 |
| 8. 受講料 | 22,000 円 (受講決定後に振込) |
| 9. 申込方法 | 京都国際社会福祉センターホームページより Web 申し込み
受付開始 2026 年 8 月 28 日 (金) 12:00 頃 予定
受付終了 2026 年 9 月 12 日 (土) 15:00
※定員になり次第、受付を終了いたします。
郵送や FAX でのお申込みは受付いたしません。
全ての必要事項に記載をお願いします。 |
| 10. 受講の流れ | ・ 9 月 18 日以降に受講決定通知書を郵送します。受講料を郵便振替にてお支払いください。
・ 分科会は受付順に人数の調整を行うことがあるので、ご希望に添えないこともあります。ご了承ください。 |

11. その他
- ・申し込み後に入力漏れ等に気づいた場合は、電話・FAX でお知らせください。
再度申し込みはしないでください。
 - ・講習会中の録音・録画、写真撮影は禁止します。
 - ・新版 K 式発達検査講習会（中級）の中で開催される研究大会の発表者を募集いたします。「第 5 回新版 K 式発達検査研究大会要項」をご確認の上、発表申込をお願いいたします。
12. 問合せ先 京都国際社会福祉センター 中級講習会担当
- 電話 075-612-1506（休館日を除く 9：30～17：00）
- FAX 075-621-8264
- 休館日：日曜日・月曜日・祝日

第 5 回新版 K 式発達検査研究大会要項

第 5 回新版 K 式発達検査研究大会の発表者を募集します。

1. 募集内容 新版 K 式発達検査講習会（中級）の中で研究大会の時間を設けます。そこで、新版 K 式発達検査に直接的・間接的にかかわる研究を募集します。発表種別には「調査研究」「実践報告」があります。登録時に希望の形式を選択してください。
 - ① 調査研究：新版 K 式発達検査に関連した、発達支援の基礎となる理論の提示や、調査資料に基づいた研究を募集します。
 - ② 実践報告：新版 K 式発達検査に関連する発達支援の実践活動報告を広く募集します。研究として完結したものである必要はなく、現場での気づきや疑問、工夫などを参加者同士で共有する機会にしたいと思います。
2. 発表形式 口頭発表のみとなります。
発表時間は 30 分（口頭発表 20 分、質疑応答 10 分）の予定です。
本館と東館をオンラインで繋いで実施します。
3. 申込方法 第 36 回新版 K 式発達検査講習会(中級)の参加登録時に、研究大会の発表を希望してください。
※郵送や FAX でのお申込みは受付いたしません。
※責任発表者、および筆頭者は第 36 回新版 K 式発達検査講習会(中級)の参加者に限ります。
4. 演題登録 ご希望をいただいた方には、要旨提出用のフォームの URL を送付いたします。
要旨の文字数は 1000 文字程度で、目的、方法、結果、考察を記載してください。
演題登録締め切り日までに、投稿してください。
5. 発表の可否 審査を経て、発表の可否を決定します。
6. その他
 - ・人を対象とした研究の場合は、研究対象者（や保護者等）に説明し、研究協力の同意を得てください。
 - ・ご所属機関の利用者の方を対象とされる場合は、所属機関の倫理委員会、または所属長から研究発表についての承認を得てください。
 - ・要旨には、個人や集団の特定につながる情報は記載しないでください。
 - ・利益相反事項がある場合は、申告をしてください。